

令和 8 年 7 月 1 日
産業・人権環境常任委員会資料
産業観光部文化スポーツ課

令和 7 年度宇治市文化会館の指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第 11 条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和 7 年度 事業報告書

令和 8 年 5 月 2 6 日

施設名	宇治市文化会館
団体名	アクティオ株式会社
代表者名	代表取締役社長 淡野 文孝
指定管理期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日（5 年間）

（１）業務実施状況報告（令和 7 年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

宇治市文化会館条例の設置目的に基づき市民の文化向上や市民福祉の増進と、宇治市文化芸術振興条例が目指すまちの実現に寄与できるよう、宇治市における新しい芸術文化をつくりあげていくため、下記の 5 つの基本方針に取り組むとともに、さらなる市民文化の創造・発展に取り組んできました。

【施設運営の基本方針】

- ① 質の高い文化事業の提供
- ② 各種団体との文化振興連携事業を実施
- ③ 市民参画機会の提供
- ④ 観光資源を生かしたまちづくり支援
- ⑤ 生涯学習の側面強化策の実施

宇治市文化会館の指定管理者として、施設の設置目的及び施設の公共性を十分認識し、宇治市と連携を図りながら、市民の利用促進を図り、円滑な文化会館の管理運営及び文化センターの維持管理を実施しました。

また、幅広い層を対象に、文化芸術振興事業を年間 3 3 回開催し、質の高い鑑賞機会を提供するとともに、地元人形劇団と連携した共催公演や、京阪沿線 6 市の文化ホールとの連携による若手アーティスト育成事業「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」の開催と、宇治市の文化芸術の創造、交流、発信の拠点として、地域の文化芸術活動の促進に努めました。なお、令和 7 年度で第 3 回目となる「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」では、他の地域の文化施設や鉄道、民間企業と連携を図り、幅広い広報活動に取り組み、施設の PR にもつながりました。

さらに、9 月 2 3 日に実施した「大阪交響楽団宇治特別公演」では「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」と連携し、オーディションで選考した「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」に出演した若手音楽家が、プロのオーケストラと共演する機会を創出し、宇治出身の次世代アーティストの文化芸術活動を支援し、応援する取り組みを推進しました。

中高生のための「演劇ワークショップ」でも、プロとして活動している指導者に、実践的な演劇指導を受ける機会を創出し、次世代の子どもたちが、本格的な文化芸術に触れるきっかけづくりを推進しました。

併せて、貸館事業においては、利用に係る相談には丁寧に対応し、施設利用者をサポートすることで、利用促進を図りました。

<事業内容>

①鑑賞事業

実施日	主催/共催	事業名
4月12日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「アイミタガイ」
5月 3日(土・祝)	共催	ゴスペラーズ坂ツアー2025 “G30”
5月10日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「恋するピアニスト フジコ・ヘミング」
6月 7日(土)	共催	「響け！ユーフォニアム」(2回公演) 8回目だよ！宇治でお祭りフェスティバル
6月 8日(日)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「雪の花ーともに在りてー」
7月13日(日)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「正 体」
7月26日(土)	共催	ONE LOVE MYUJI-C FES
7月27日(日)	共催	高嶋ちさ子 with Super Cellists
8月 9日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「アナウンサーたちの戦争」
8月16日(土)	共催	夏休みファミリー人形劇 「うみぼうやとうみぼうず」
8月20日(水)	共催	リアル恐竜ショー (2回公演) 「恐竜パーク」
9月 6日(土)	共催	ULTRAMAN NEW GENERATION THE LIVE スターズ編 (2回公演) ウルトラマンゼット～旅立ちの時～ in 京都宇治
9月20日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「35年目のラブレター」
11月 8日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「花まんま」
11月16日(日)	共催	舞太鼓あすか組 35th Anniversary「鳥獣戯画」
11月23日(日・祝)	共催	Music Fusion in Kyoto 音楽祭 オリジナルオーケストラコンサート ミュージッククロスロード～音楽の出会い～
11月24日(月・休)	主催	石上真由子ヴァイオリンリサイタル 「京都府文化賞」受賞記念演奏会 with 法貴彩子(ピアノ)
12月 4日(木)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「104歳、哲代さんのひとり暮らし」
12月20日(土)	主催	桂米朝一門会
12月21日(日)	主催	音楽に出逢うワンコインコンサート Vol.8 親子でわくわくクリスマス音楽会
1月10日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「シンペイ 歌こそすべて」
2月21日(土)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「ボレロ 永遠の旋律」(字幕版)
3月 7日(土)	主催	音楽に出逢うワンコインコンサート Vol.9 チェンバロも楽しめる名曲アンサンブル
3月15日(日)	共催	宇治セレクトシネマ (2回上映) 「遠い山なみの光」
入場者数 15,151人		

②参加創造事業

実施日	主催/共催	事業名
7月29日(火) 7月30日(水)	主催	中高生のための「演劇ワークショップ」 Aコース(初級編)・Bコース(中級編)
9月23日(火・祝) 本公演	主催	京阪フレッシュアーティストトリレーコンサート連携特別企画 大阪交響楽団宇治特別公演 ―宇治に輝く音楽家たち―
10月11日(土) 本公演	主催	ピアノマラソン 大きなホールでスタインウェイピアノを弾いてみよう Vol. 4 ワンポイントレッスン…9月16日・17日・21日
3月15日(日) 本公演	主催	宇治っ子朗読劇団☆Genji 第14回定例公演 練習日程…9月21日～3月15日(全22回) ワークショップ…8月31日
参加者数 752人 入場者数 1,270人		

③普及啓発事業

実施日	主催/共催	事業名
5月5日(月・祝) ～5月9日(金)	主催	スタインウェイを弾いてみよう ～ホールでスタインウェイの演奏を体験してみませんか♪～
10月12日(日)	主催	避難訓練&宇治セレクトシネマ 「港に灯がとる」
10月25日(土) 10月26日(日)	共催	宇治市民文化芸術祭 「舞台の部」「展示の部」
10月28日(火) ～10月31日(金)	主催	スタインウェイを弾いてみよう ～ホールでスタインウェイの演奏を体験してみませんか♪～
2月23日(月・祝)	主催	京阪沿線6市ホール 守口・門真・寝屋川・枚方・八幡・宇治 クラシック音楽共同企画事業 京阪フレッシュアーティストトリレーコンサート 宇治公演 ～ひかりはばたく新星たち～
参加者数 807人 入場者数 4,517人		

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

- (1) 指定管理者として、文化芸術の振興を目的とする催物の利用に文化会館の施設・設備を提供するとともに、宇治市文化会館条例及び宇治市文化会館条例施行規則に則り、宇治市と連携を図りながら、公平公正かつ適正な利用管理に努めました。
- (2) 宇治市の文化芸術の拠点施設として、市民の平等利用の確保をはじめ、舞台研修など職員のスキルアップを図ることで、職員の利用相談などのサポート機能が向上し、施設利用者の円滑な文化芸術活動の実現につながりました。
- (3) 窓口にコミュニケーション支援ボードを設置し、外国人や障害者、高齢者等、支援が必要な利用者との円滑なコミュニケーションに配慮しました。

【利用拡大の取組結果について】

施設の利用促進及び来場機会の拡大に向け、様々な取り組みを実施しました。

- (1) 交通アクセスの利便性向上を目的として、令和4年度より実施しているＪＲ宇治駅と京阪宇治駅からのシャトルバスの運行（往復乗車券５００円）について、令和7年度も１公演について継続実施しました。５０人の利用があり、公共交通機関を利用する来場者の円滑な移動を支援しました。
- (2) 「源氏物語朗読劇講座」の実施にあたり、小中学生が講座に参加するきっかけづくりとなるプレ事業として「朗読ワークショップ」を開催しました。体験の機会を創出することで、次世代の子どもたちが「源氏物語朗読劇講座」にとどまらず、文化芸術活動に関心をもってもらう取り組みとなりました。
- (3) 自主事業では、市民広場を活用したマルシェを開催し、賑わいの創出と、幅広い利用促進に取り組みました。
- (4) 毎月開催している宇治セレクトシネマにおいて、日本語字幕付きの上映を行い、聴覚に不安のある方や障害を持つ方も、安心して鑑賞できるユニバーサルな環境を整備しました。
- (5) 施設運営への市民参画とサービス向上を目的に運営している、ボランティア活動組織レセプションистにおいて、大学生を含む２０代３人が新たに加わり、研修による育成に注力しました。令和7年度は、受付や客席案内など計１１回活動し、延べ７４名が参加しました。今後も、文化芸術活動を支える若い人材の育成についても取り組んでいきます。
- (6) イベントインフォメーションに練習室１～４及びリハーサル室の利用案内を掲載し、ホール以外の施設利用の促進に努めました。

【利用料金収入の結果について】

〈文化会館利用状況〉

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数		1,114 件	1,092 件	1,088 件	1,095 件
利用人数		79,371 人	91,627 人	99,422 人	101,665 人
利用料	収納額	24,933 千円	23,450 千円	23,263 千円	20,981 千円
	免除額	13,458 千円	17,984 千円	16,486 千円	18,524 千円

【自主事業に関する取組結果について】

- (1) 喫茶事業（ＮＰＯ法人京都フォーライフによる運営）
 喫茶事業においては、飲食の提供にプラスアルファした取り組みとして、市民が日常の中で文化芸術に触れられる空間づくりを創出しました。
 ホールを利用する予定の団体やプロのアーティストによる、喫茶スペースを活用した「スイーツタイムコンサート」を３回開催しました。
 スイーツを楽しみながら、リラックスした雰囲気、質の高い音楽に触れる機会を提供することにより、芸術鑑賞の機会を広げるとともに、ホールで開催する公演への誘客につなげることができました。

(2) 飲料自動販売機の設置

自動販売機は文化センター内に5台設置し、飲料の提供を行いました。

(3) 市民広場の活用イベント

市民広場を活用したマルシェやキッチンカーの出店を6月・8月の計2日間実施しました。毎回30店舗を超える出店数で、延べ1,500人の来場者がありました。併せて、気軽に楽しめるワークショップ等も行い、利用者へのサービス向上や賑わいづくりに努めました。

【情報発信の取組結果について】

(1) 「文化会館利用案内」を発行し、貸館利用者に配布、施設内にも配架する他、文化会館ホームページにも掲載し、文化会館利用にあたっての基本的な情報提供を行いました。

(2) 催物案内「イベントインフォメーション」を毎月発行し、タイムリーな情報発信を行いました。また、従来の配架場所に加え、近隣の病院や学校などへ配架を広げ、より幅広い広報を展開しました。

(3) 宇治市広報誌や地域自治会の公式LINE、回覧を活用した情報発信を行いました。

(4) その他、FMうじへの出演やNHKテレビ放送及び新聞等の取材対応などによる情報発信を行いました。

(5) 公式InstagramやLINE、Facebookにより、主催事業の事前広報として、公演の魅力を伝える動画配信を行うなど、SNSを活用した情報発信を積極的に展開しました。また、ホームページとの連動により、SNSの拡散性を活かし、幅広い世代へ直接アプローチできるよう努めました。

(6) 主催及び共催事業のPR動画を作成し、文化会館内だけでなく、市役所1階市民交流ロビーにおいて配信し、より幅広い広報に努めました。

広 報 の 取 組

- 宇治市広報誌・イベントインフォメーション・文化会館ホームページ掲載
- ポスター掲示（広報板、チケット販売所、市内公共施設等）
- 地域自治会公式LINE及び回覧の活用
- イベントインフォメーション・事業チラシ配架
（市内公共施設、近隣文化施設、市内企業、商業施設、近隣大学等）
- FMうじ番組出演
- SNS（公式Instagram及び公式LINE）の活用
- チケットプレゼント（地方紙）
- WEB登録会員へのDM広報
- 近隣文化施設の公演でチラシの挟み込み依頼
- 文化会館利用公演でチラシの挟み込み依頼
- 有料広告（主要郵便局へポスター掲示・チラシ配架、京都新聞へチラシの挟み込み）
- 動画配信（文化会館内及び市役所1階市民交流ロビー）

【管理運営体制等について】

管理職２人（館長・副館長）を含む常勤職員７人と非常勤職員２人の９人の人員体制で運営を行いました。

また、計画的に職員研修を実施し、公共施設における接客マナーや対応スキル、緊急時対応力の向上に努めました。

【職員研修計画と実施状況について】

- 令和７年 ４月 西日本館長会 指定管理者施設合同研修 １人参加
- 令和７年 ５月 舞台研修 全員参加
- 令和７年 ５月 防火管理者研修 １人参加
- 令和７年 ６月 アクティオ合同研修（事業企画研修） １人参加
- 令和７年 ６月 救命講習 １人参加
- 令和７年 ６月 マナー基礎研修 １人参加
- 令和７年 ６月 コンプライアンス研修 全員参加
- 令和７年 ７月 Instagramを活用した広報力向上研修 ２人参加
- 令和７年 ８月 『熱中症アンバサダー講座』オンライン研修 ２人参加
- 令和７年 ８月 西日本館長会 指定管理者施設合同研修（バリューアップ研修） １人参加
- 令和７年 ８月 京都府公立文化施設協議会 理事会・総会・研修会 ２人参加
- 令和７年 ８月 全国公立文化施設協会 近畿支部
舞台芸術スタッフセミナー（アートマネジメント編） ２人参加
- 令和７年 ９月 レセプションист研修 全員参加
- 令和７年 １１月 情報セキュリティ研修 １人参加
- 令和７年 １２月 個人情報保護教育 eラーニング受講及びテスト 全員参加
- 令和８年 １月 西日本館長会 指定管理者施設合同研修（事業研修） １人参加
- 令和８年 ２月 コンプライアンス研修 全員参加

【地域との連携、市民参画の結果について】

（１）地域との連携事業を実施しました。

- ① 京阪沿線にある６市（守口市、門真市、寝屋川市、枚方市、八幡市、宇治市）の文化施設と京阪ホールディングス（株）、枚方信用金庫の２社の民間企業を含む計８団体が連携して共同事業「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」を開催し、次世代を担う音楽家を発掘・育成し、若手音楽家たちに成長の機会を提供しました。

■ ２月２３日 宇治公演 参加者数 ８人出演 入場者数 １０２人

- ② 宇治を拠点に全国で活躍する人形劇団京芸と共催で、夏休みファミリー人形劇「うみぼうやとうみぼうず」を開催しました。プロのアーティストに触れる事業は、子どもたちの豊かな感性と想像力を育む貴重な機会となりました。今後も、地域の文化芸術団体と連携し、地域全体で文化芸術を育む土壌づくりを推進していきます。

■ ８月１６日 入場者数 １８７人

（２）参加創造事業（市民参加型事業）を実施しました。

- ① 中高生のための「演劇ワークショップ」は、演劇初心者でも参加できるプログラムを企画・実施し、中高生が演劇への興味・関心を深める機会を創出しました。プロのアーティストの指導で表現することの楽しさを提供するにとどまらず、参加者同士の交流が生まれる等、地域における青少年の文化活動を活性化する有意義な取り組みとなりました。

■ ７月２９日・３０日 参加者数 ５１人

- ② 大阪交響楽団宇治特別公演 ―宇治に輝く音楽家たち―では、「京阪フレッシュアーティストリレーコンサート」との連携特別企画として開催しました。若手アーティストを支援することを目的に、前回・前々回の同コンサートに出演した宇治市出身のアーティストとオーディションで選出したアーティストの計４人が、ソリストとしてプロのオーケストラとの共演を果たしました。地元ゆかりの才能ある若手アーティストたちが、プロと一緒に舞台を経験することで成長する機会となり、宇治市から羽ばたく次世代アーティストたちの活動を広く発信する機会となりました。
- ③ 大ホールのスタインウェイを活用した「ピアノマラソン」は、令和７年度で３年目を迎えました。本事業は「学び」と「発表」の２部構成で、ワンポイントレッスンには１５人が参加し、プロのピアニストに直接指導を受け、演奏技術と表現力の向上を図りました。ステージ発表では、７歳から７５歳までの参加者４８人が、観客を前に楽曲を披露し、日頃の練習成果をステージで発表する貴重な機会となりました。
- ④ 次代を担う子どもたちが古典に親しみ、未来に伝えていく源氏物語朗読劇講座「宇治っ子朗読劇団☆Genji」では３月の定例公演に向けて、小学３年生から高校３年生までの参加者２１人が、９月から３月まで計２２回にわたり、熱心に稽古を重ねました。また、１０月には宇治田楽まつりに、定例公演前にはＮＨＫの番組「京いちにち」に出演し、宇治市文化会館の特色ある取り組みを広く発信しました。
- ⑤ １０月の宇治セレクトシネマでは、映画上映中の地震や火災の発生を想定し、中央図書館、中央公民館及び歴史資料館と連携し、来場者の協力を得て、避難訓練を実施しました。総勢１３４人が参加し、ホール客席からスタッフの誘導により、速やかに屋外へ避難しました。文化センター４館が連携した避難訓練の実施により、４館全職員の危機管理能力の向上につながりました。
- ⑥ 世界三大ピアノの一つと称される「スタインウェイ」を、無観客の大ホールで演奏できる機会を提供しました。年間２回（計９日間）開催し、子どもから大人まで延べ１４８人の利用がありました。本格的なコンサートピアノの音色と、ホールの優れた響きを肌で感じる貴重な体験の場となりました。
- ⑦ 宇治市、宇治市民文化芸術祭実行委員会、宇治市芸術文化協会と共催して、宇治市民文化芸術祭を開催、市民の自主的で創造的な文化芸術活動を促し、地域や世代を越えた市民相互の交流を図りました。

(３) 宇治リエンス使用料助成金事業を実施しました。

市内団体を対象に、宇治リエンス使用料助成金事業（文化会館使用料助成事業）を実施しました。

■助成団体数 １８団体

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

文化センター全館の電気機械設備、舞台・消防設備の保守管理、保安警備、清掃などの業務を専門事業者へ委託し、施設・設備の適正・効率的な維持管理に努めています。

施設の開館から４１年が経過しており、施設・設備の経年劣化が進んでいることから、特に施設の安全性の保持を優先し、迅速かつ計画的に修繕を実施し、施設・設備の保全と、安全な利用環境の維持に努めました。

また、職員には救急救命研修や熱中症対策研修を実施し、危機管理意識の向上を図り、緊急時における初動対応能力の向上と、来館者の安全確保に万全を期して取り組んでいます。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】
事務室前にお客様意見箱を常時設置し、利用者のサービスの向上に努めました。 併せて、事業ごとにアンケートを実施するとともに、９月～１０月に定期的なアンケートを実施し、利用者の感想や意見及び要望の把握に努めました。 利用者からは「トイレの改修」や「座席の改善」など施設や設備への改善要望が多くみられました。「交通の便が悪いのでバスを出してほしい」という要望には、引き続きＪＲ宇治駅と京阪宇治駅からシャトルバス（往復乗車券５００円）を運行し、利用者ニーズに沿った事業運営に努めています。
【サービス向上取組内容について】
（１）鑑賞用ブランケットを導入し、快適な鑑賞環境を整備しました。 （２）途中入場が困難な公演については、ホールの様子が分かるモニターをホワイエに設置し、遅れて入場した来場者にも配慮しました。 （３）宇治セレクトシネマでは、日本語字幕付きの上映を実施し、誰もが楽しく鑑賞できる環境を提供しました。 （４）子どもを対象にした事業では、昨年度に引き続き、チャイルドシートクッションを無料で貸出し、小さなお子様にも集中して鑑賞できる環境を提供しました。さらに、主催事業においてチラシやパンフレット等にはルビ（ふりがな）をふり、子どもたちにも読みやすく、子どもたちにさらに楽しんでもらえるよう工夫しました。 （５）クラシック公演では、ＪＲ宇治駅と京阪宇治駅からシャトルバス（往復乗車券５００円）を運行しました。
【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】
（１）助成金等を活用した公演を実施しました。 ① 京都府・令和７年度文化の心次世代継承事業（業務委託） ② 芸術文化振興基金「地域文化施設・展示活動（文化会館公演）」 （２）施設管理において、簡易的な補修（床面等）は外部業者へは委託をせず、職員が対応し、経費削減に努めました。 （３）不要照明の消灯（安全面に配慮し、不要な時間帯のみ消灯）を徹底し、経費削減に努めました。
【個人情報保護措置と実施状況について】
個人情報保護措置については、「宇治市文化会館（指定管理者）個人情報保護規程」に則した適切な個人情報の取り扱いを行いました。 また、個人情報保護テキストによる研修を行い、職員全員を対象とした教育テストを年１回実施しています。
【情報公開対応と実施状況について】
令和４年４月１日制定の「宇治市文化会館（指定管理者）情報公開規程」に則り、文書の適正な作成及び保存を図り、文書を適切に管理しました。 なお、令和７年度において、情報公開請求はありませんでした。

【その他】

(1) 市民広場の活用及び賑わいづくりについて

市が主催する事業で、市民広場においてマルシェを開催しました。

8月 平和☆ひゅうまん夏フェスタ

10月 令和7年度 宇治市民文化芸術祭

12月 高校生文化芸術祭典～FUN×FAN×FES～

(2) 施設の維持管理実施状況について

安全で快適な施設機能の維持を目指し、施設全体及びホール舞台機構・照明設備・音響設備の管理運営・保守点検を計画的に実施しました。

修繕については、経年劣化による備品の修繕を行い、また突発的な設備機器の故障には迅速に対応しました。

＜指定管理者施工の主な修繕等＞

施工箇所	施工内容	施工月
文化センター	外灯取替	4月
文化会館	煙感知器交換	9月
文化センター	タイル修繕	11月

(2) 施設利用状況報告（令和7年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数

〈施設別利用人数実績〉

（単位：人）

施設区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
大ホール	58,939	67,520	72,024	70,263
小ホール	12,015	15,648	18,941	19,359
リハーサル室	3,347	3,132	3,212	3,372
練習室1	485	331	319	528
練習室2	1,232	986	1,086	1,535
練習室3・4	88	263	198	363
その他	3,265	3,747	3,642	6,245
計	79,371	91,627	99,422	101,665

【施設利用状況】 2. 貸館状況

〈ホール 供用日数・利用日数・利用率実績〉

施設区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ホール	大ホール	供用日数	284	305	294	301
		利用日数	154	152	151	151
		利用率	54%	50%	51%	50%
	小ホール	供用日数	290	302	298	300
		利用日数	145	146	135	136
		利用率	50%	48%	45%	45%
	ホール全体	供用日数	292	306	300	306
		利用日数	209	206	201	200
		利用率	72%	67%	67%	65%

〈関連施設 供用日数・利用日数・利用率実績〉

施設区分			令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
関連施設	リハーサル室	供用日数	312	313	315	317
		利用日数	190	187	196	191
		利用率	61%	60%	62%	60%
	練習室１	供用日数	312	313	314	317
		利用日数	131	136	133	150
		利用率	42%	43%	42%	47%
	練習室２	供用日数	312	313	316	317
		利用日数	164	148	151	148
		利用率	53%	47%	48%	47%
	練習室３・４	供用日数	312	313	315	317
		利用日数	58	99	83	94
		利用率	19%	32%	26%	30%
	関連施設全体	供用日数	312	313	316	317
		利用日数	266	273	261	274
		利用率	85%	87%	83%	86%

(3) 管理経費収支報告（令和7年度）

（単位：千円）

施設名		宇治市文化会館			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	118,600	126,975		
	利用料金収入	22,500	20,981		
	その他	5,200	12,824	事業収入（主催・共催事業、助成金）、自販機収入、雑収入	
収入合計（A）		146,300	160,780		
支出	人件費	24,818	27,023		
	事務費	2,900	1,732	通信費 665 事務用品費 450 備品購入 617	
	管理費	87,400	98,660	光熱水費 35,217 建物保全費 59,744 修繕費 3,699	光熱費高騰による増
	事業費	8,000	14,862	事業費 11,509 印刷製本費 495 助成金事業 2,858	
	その他	23,182	21,004	租税公課 2,347 消耗品費 1,112 支払いリース 1,178 一般管理費 15,207 その他 1,160	
支出合計（B）		146,300	163,281		
収支（A）－（B）		0	▲2,501		

実績における市からの委託料（126,975千円）は、光熱費の高騰に対してリスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告 (令和7年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施 時期 ・回数
令和7年度 高校生文化芸術祭典 「FUN×FAN×FES」	市内高校生の自主的で創造的な文化芸術活動の成果発表と学校を越えた交流を通じて、宇治市の文化芸術の活性化を図る事業を高校生文化芸術祭典実行委員会と共に実施 ■舞台の部 9団体（約200人）参加 ※幕間イベント（ジャグリング・漫才） ■展示の部 5団体、個人1名（約160点）参加 ■菟道高校茶道部によるお茶席（100人） ■宇治支援学校とフォーライフカフェのコラボカフェ（120人） ■実行委員と参加者を中心としたラジオDJブースによる情報発信 ■菟道高校パフォーマンス「宇治田楽」 ■市民広場マルシェ（55店舗） ■ワークショップ（クリスマスリース・落ち葉オーナメント） ■ライブアート・合同演奏・クイズラリー・千本引き等の参加型企画 来場者数 2,570人	令和7年12月14日（日） ・ 1回

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和7年度)

団体名 アクティオ株式会社

(単位: 千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 一人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝礼	材料費 等	その他
令和7年度 高校生文化芸術祭典 「FUN×FAN×FES」	1,200人 参加費 0円	▲2,700	2,700	0	55	550	2,095
	2,570人 参加費 0円	▲2,700	2,700	0	55	500	2,145
計	予定額	▲2,700	2,700	0	55	550	2,095
	実績	▲2,700	2,700	0	55	500	2,145

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入する事